

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	37901
事業名	えほん図書館運営管理費					
評価担当課	所属名	教)中央図書館 運営企画課				
	課長名	木田敏郎	担当者名	富永智	電話番号	011-866-4646
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	人格形成の基礎を培う幼児期における読書のきっかけづくりを行い、生涯にわたる読書習慣を身に付けてもらう。			
		長期	同上			
	取組内容	えほん図書館の運営管理を行う。 ①絵本、絵本文化を広く理解するための資料等の収集・提供 ②乳幼児の読書活動の推進、乳幼児の読書活動や子育てに関わる人を支援するための行事の開催				
実施結果	①えほん図書館の施設維持管理(都市局建築部へ予算委託、白石区市民部へ予算配分) ②図書購入数1,174冊 ③行事の開催(開館5周年記念行事、白石区との連携事業)、動画の制作・配信、企画展示・館内装飾等の実施 ④小学校入学前までに絵本1,000冊を読むことに挑戦するプログラム「めざせ!えほんマイスター」の実施					
事業実施における工夫点	感染症対策を講じた閲覧・貸出等業務や行事を実施したほか、非来館型・非接触型事業として動画配信等を行った。また、職員間で模擬おはなし会を実施するなど、定例的な行事再開に向けた準備を継続的に行った。					
対象者	乳幼児、保護者、乳幼児教育関係者、絵本研究者など	開始	平成28年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	図書館法・札幌市図書館条例・札幌市図書館条例施行規則					
他都市の状況	愛知県小牧市えほん図書館、北海道剣淵町絵本の館において、絵本に特化した図書館サービスを実施					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	54,757	54,000	51,311	54,000	
うち特定財源	74	79	72	76	
人工	4.0	4.0	4.0	4.0	
人件費	28,800	28,800	28,800	28,800	
計(事業費+人件費)	83,557	82,800	80,111	82,800	
事業費の内訳	令和3年度決算	・えほん図書館施設維持管理に係る経費 17,159千円 ・会計年度任用職員(図書情報専門員等)報酬等 29,905千円 ・図書購入費 2,141千円 ・各種行事に関する経費 2,106千円			
	令和4年度予算	・えほん図書館施設維持管理に係る経費 16,648千円 ・会計年度任用職員(図書情報専門員等)報酬等 30,524千円 ・図書購入費 2,209千円 ・各種行事に関する経費 4,619千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	蔵書冊数(冊)		
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
		24,540	26,000	26,410	27,500
活動指標2		指標名	行事の実施回数(読み聞かせ、図書館デビュー等)(回)		
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
		0	180	0	150
成果指標1		指標名	来館者数(人)		
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
		96,179	180,000	100,296	150,000
成果指標2		指標名	絵本等の貸出冊数(冊)		
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
		155,549	200,000	157,769	190,000
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	令和3年度は、感染拡大防止のため、令和2年2月以降から引き続き、おはなし会などの集合型行事を中止し、また、5月から7月に67日間、臨時休館したことなどにより、成果指標における令和3年度実績は、コロナ前の平成30年度と比較して、来館者数54%、貸出冊数80%と下回っている。しかし、令和3年10月からは回復傾向を示し、月別の来館者数は7割以上まで回復、貸出冊数についてはコロナ前を上回った月もあったことから、コロナ禍におけるえほん図書館としての役割を果たしたものと考える。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	非来館型・非接触型事業として、読み聞かせなどの動画を4本配信したほか、令和3年10月下旬から約3か月間にわたって実施した5周年記念事業には約4千人が参加、令和4年3月5日開催の白石区地域振興課との連携事業には、62人が参加している。 ・蔵書規模については、絵本、関連資料等、1,174冊の増冊を図っている。 以上のことから、コロナ禍においては、適切な事業規模であったと考える。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	・読み聞かせなどの動画配信については、専門性のある業者に委託、5周年記念所業などは職員による直営で実施している。これまで、おはなしお会等については、職員やボランティア団体等により実施してきたが、図書館デビューなど、必要に応じて専門性のある業者に委託して実施しており、適切な実施手法であったと考える。 今後も引き続き、事業の効果的・効率的な実施に向けて、利用者サービスの低下を招かないよう、見直しを行いながら執行していく。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	令和3年10月に実施した利用者アンケートにおいて、本の種類・数については「満足」が74%、「どちらかといえば満足」が24%と合わせて98%が満足していると回答、図書館職員の対応については「満足」が81%、「どちらかといえば満足」が18%と合わせて99%が満足していると回答、全体的な満足度については「満足」が81%、「どちらかといえば満足」が19%と合わせて100%が満足していると回答している。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input checked="" type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	感染防止策を講じることが難しい乳幼児が当館の主たる利用者であるため、より慎重に対応することとし、定例的な集合型行事を中止するとともに、館内での感染防止を最優先に運営してきたが、今後は、基本的な感染防止対策の徹底を図りながら、段階的に集合型行事を実施していくこととする。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし(予算上の見直しは実施していない)			見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	利用者アンケートの結果などから、市民ニーズにマッチした事業であるとともに、コロナ禍においても、乳幼児の読書活動を支援する場として、一定の成果があると考えられるため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善 ● 現状維持 ○ 休止・廃止 感染症の影響により来館者が減少傾向にあったことや、未だ絵本、読書とあまり接点がない乳幼児や保護者もいることから、引き続き、施設の認知及び利用促進に取り組んでいく必要がある。			
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 読書のきっかけづくり、読書習慣の定着を図っていくためには図書サービスの量的・質的拡大を図るための図書購入予算等の確保が重要である。			見直し効果額